

施策番号 5-2-1	施策名 効果的・効率的な行政運営	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり			
		政策名	時代に即した行財政運営と行政サービスの推進			
	主管課	政策推進課	課長名	石田 哲	内線	225
	施策関係課	総務課・都市経営課				

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
総合計画と行政改革大綱の取組を推進し、人工規模に合わせた効果的で効率的な行政運営をすすめます。		第5期総合計画 第10次行政改革大綱		総合計画：目標と掲げられた指標を実現する 行政大綱：対象実施計画を実現する				計画などに基づき、人口減少などに対応した効果的で効率的な行政運営に結びつける	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標	
① 第5期総合計画前記実施計画の施策評価(外部)のC以上の評価施策割合	総合計画推進委員会評価結果	%	94.4	85.0	88.2	61.7	67.6	100.0	
② 職員満足度	職員アンケート	%	未実施	62.1	63.8	78.0	84.0	80.0%以上	
③ 町の行政サービスに満足している町民の割合	住民意識調査	%	87.9	81.6	80.9	82.9	81.5	80.0%以上	
④ 公共施設(建築物)管理面積	都市経営課調べ	m <sup>2</sup>	192,482.26	190,679.6	192,266.7	205,370.9	205,992.8	191,072.36	
成果指標設定の考え方	①段階的に100%を目指す。②③年度による変動はあるものの、80%以上を維持する。④公共施設等総合管理計画の目標値とする。								

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	113,417	119,400	115,990	114,652	150,792
人工数(業務量)	5,9778	6,8231	5,8653	6,7290	6,5465

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2022年度の成果評価(前年度との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標の①②は上昇し、③は低下した。しかし、③の低下幅はわずかであり、全体で考えると、成果は向上したと判断する。
②第5期総合計画前期実施計画の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	②③は達成で、①は未達。④も未達の可能性が高い。①の総合計画施策評価C以上の割合が、7割弱という結果からは、目標を達成できたとは言えないと判断する。
(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	総合計画推進事業 公共施設等総合管理計画推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した公共施設(集会施設等)の再整備を進めた。令和4年度については、地域協議を踏まえ、2施設について再整備を行った。</li> <li>総合計画の進行管理(評価)を実施した。</li> <li>RPAの導入により、業務の効率化・業務量の削減を図った。</li> </ul>		

**(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)**

担当課 評価	新型コロナウイルスの影響を受けながらも、総合計画策定時よりは前進していると判断する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		

A:実現した      B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した      C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した  
 D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した      E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

**4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等**

施策を取り巻く状況と今後の予測	≪施策を取り巻く状況≫ ・「芽室町自治基本条例」や「第5期芽室町総合計画」の推進はまちづくりの将来像、基本目標の達成のための町政運営の原則であり、基本方針である。今後も進行管理をしっかり行い、改善を図りながら行政運営を進めていかなければならない。 ・国全体におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の流れが加速している。 ≪今後の予測≫ ・芽室町総合計画のPDCA(計画、実行、評価、見直し)サイクルは定着しているが、PDCAそれぞれの作業が次のサイクルに反映させる取り組みを更に強化すべきである。 ・DXが目的にならないように、住民視点での取組を進めていく必要がある。 議会からは、DXを積極的に推進するよう意見がある。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	

**5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)**

・計画・予算・評価の連動を目指しているが、評価と計画の繋がりが弱い。特に、施策の成果向上への結びつきが弱い事業については、縮小・中止・廃止の判断も必要になるが、現実的には難しく、そのための方法についても検討する必要がある。 ・デジタル技術の発展は日進月歩であり、導入のタイミングが難しい。 ・公共施設等総合管理計画の目標達成に向けた、ファシリティマネジメント(施設とその環境を総合的に企画・管理・活用する経営活動)の視点を踏まえた進行管理が必要となる。
--

**6. 経営戦略会議(庁内評価)**

評価	公共施設等総合管理計画に基づき、地域協議を踏まえ、老朽化した公共施設(集会施設等)の再整備などの取組から「前進した」と評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		

今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した
-------------	--------------------	--

**7. 総合計画審議会(外部評価)**

評価	担当課評価、庁内評価同様に「前進した」と評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
					○		

今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した
-------------	--------------------	--